



環境に優しい企業活動を目指して

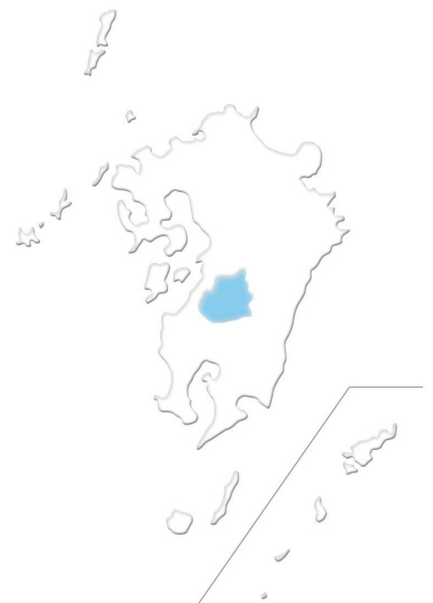


ぎじ馬と花手箱



ラフティング

'07 人吉電力所環境アクションレポート



九州電力
ずっと先まで、明るくしたい。

ごあいさつ

人吉電力所は、熊本県南東部の人吉市と球磨郡及び八代市の一部にある水力発電所、変電所及び送電線路の保守及び維持、管理を主業務として、お客さまに良質で安定した電気をお届けすることを使命としている事業所です。

当所では「電気にまごころを 環境にやさしさを 職場に笑顔を」を行動方針に掲げ、所員が一丸となって、電気を安定して送り続けるとともに、環境に優しい事業運営を目指しており、2001年3月に環境管理の国際規格であるISO14001の認証を取得し、全所員が環境活動に積極的に取り組んでいます。

具体的には、「私たちは 未来へつなぐ 環境活動を推進します」というビジョンのもと、循環型社会の形成及び環境関連法規制の遵守など5項目の基本方針を定め、環境マネジメントシステムを確実に展開するとともに、所員一人ひとりが日常生活においても環境に配慮した行動を実践しています。

今回は、皆さま方に私たちの環境保全への取り組みを知っていただくために、この「人吉電力所環境アクションレポート」を発行しました。皆さまの率直なご意見、ご感想をお待ちいたしております。

私たち所員一同は、今後とも地域の皆さまのご理解とご協力を得ながら、環境に優しい企業活動に努めていく所存です。

2007年6月

熊本支店
送変電統括部 人吉電力所長
柿本 義一



第1章／電力所と環境との関わり …… 2

第2章／人吉電力所の概要 …… 4

1. 組織と業務
2. 管轄範囲
3. 管轄設備と運用実績
4. 人吉電力所環境方針

第3章／環境活動のしくみ …… 6

1. 環境マネジメントシステム …… 6
 - (1) EMS導入とISO14001 認証取得
 - (2) 運用体制
 - (3) 内部環境監査
 - (4) 教育・訓練
 - (5) 外部環境審査
2. 環境目的・目標の計画と実績 …… 8
 - (1) 2006年度の実績と評価
 - (2) 2007年度の計画

第4章／環境活動への取り組み …… 10

1. 環境汚染を予防する設備形成の推進 …… 10
2. 電力所オフィスにおける3Rの推進 …… 12
 - (1) 一般廃棄物の3R
 - (2) 産業廃棄物の適正処理
 - (3) グリーン調達への推進
3. 地域貢献 …… 13
 - (1) 地域清掃活動への積極的参加
 - (2) 植樹活動への参加
 - (3) 不法投棄防止への取り組み
 - (4) 小学校における環境活動講師の実施
 - (5) 社会福祉施設清掃ボランティアの実施
 - (6) 稚魚放流の実施
4. 環境活動意識の高揚 …… 15
 - (1) 意識高揚標識の設置
 - (2) 環境活動情報誌の掲示
 - (3) 環境に優しい日常行動の自己評価
 - (4) 環境方針カードの配布
5. 人吉電力所EMSの経緯 …… 17

表紙の写真について



■きじ馬と花手箱

800年以上前、平家の落人が球磨地方に逃れ、人吉の奥地に居を定めたとされています。平家落人たちは、過ぎし都の暮らしを懐かしみ、きじ馬、花手箱、羽子板などの美しい木工品を作りはじめたと伝えられています。



■ラフティング

日本三大急流の一つである球磨川は、「球磨川下り」が有名ですが、最近では人吉・球磨の大自然が満喫できるスポーツ「ラフティング」も盛んに行われています。

第1章／電力所と環境との関わり

山間部にある水力発電所で発電された電気は、輸送ロスが少ない高い電圧で送電線を経由してお客さまの近くの変電所まで送られます。変電所に届いた電気は低い電圧に下げられ、配電線でお客さまへ届けられます。

電力所は、当社電気設備のうち、水力・変電・送電設備を管理する事業所であり、事業活動における電力所と環境との関わりを図示すると以下ようになります。

ダム・水路

【リサイクル】

水力発電所の取水ダムなどに河川の流木などが堆積します。

----- [P11「流木の有効活用」へ](#)



水力発電所

【温室効果ガスの削減】

水力発電は、水の力で電気をつくる貴重な純国産エネルギーであり、発電時CO₂が発生しないなど環境面で優れた発電方式です。

----- [P10「国産自然エネルギーの有効利用」へ](#)

【汚染予防】

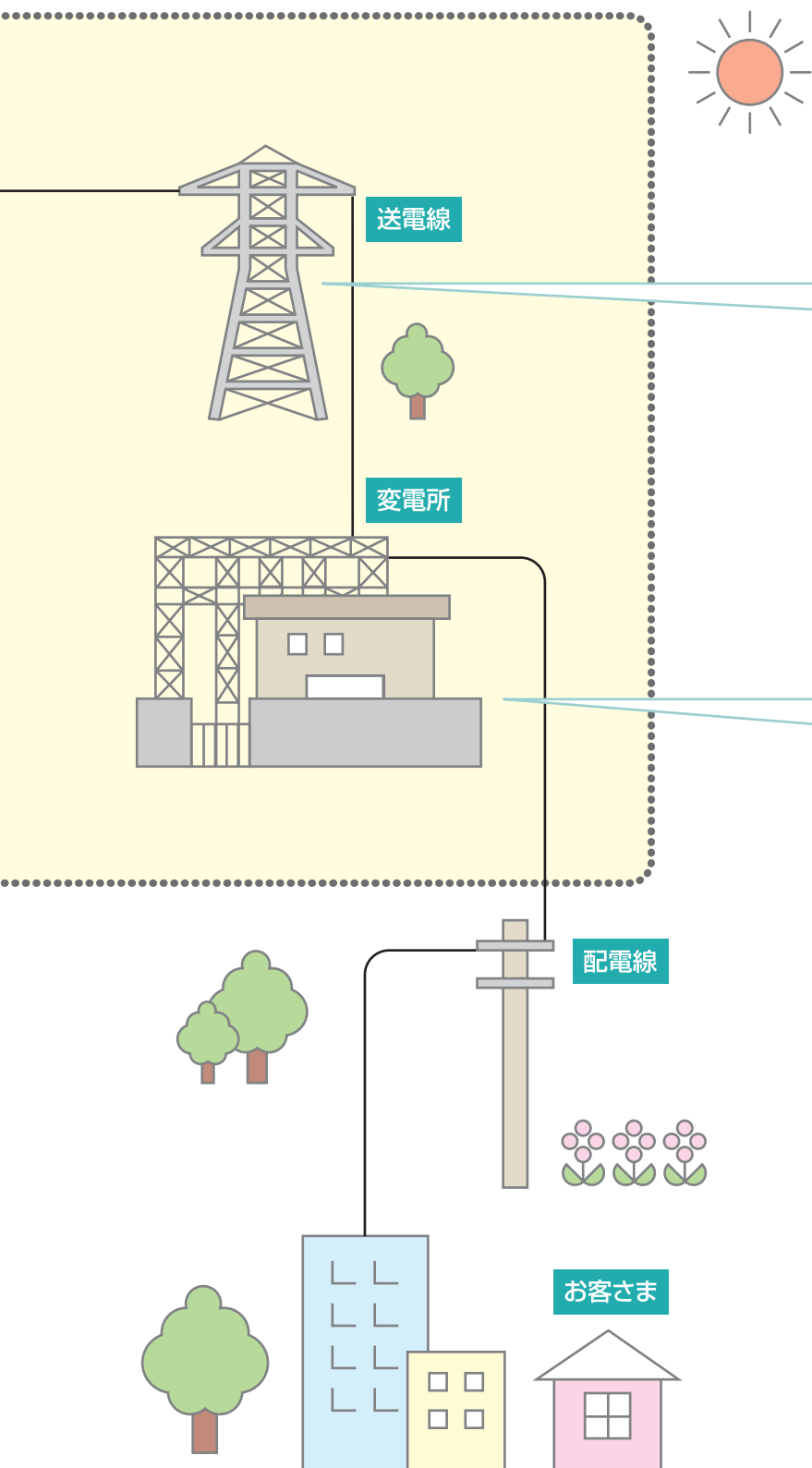
水力発電所の油圧機器の油が河川に流出する恐れがあります。

----- [P10「環境負荷の低減」へ](#)



電力所管轄範囲





送電線

【景観保全】

山間部の鉄塔建設には森林の一部伐採を伴います。

----- P11「送電鉄塔の環境調和」へ



変電所

【温室効果ガスの削減】

ガス絶縁開閉器の内部には、地球温暖化、オゾン層破壊に影響があるSF₆ガスが使用されています。

----- P11「オゾン層破壊ガスの回収徹底」へ

その他(事務所内活動)

----- P8・12・13 へ

【省エネルギー】

・事務所内の活動で電力を消費します。

【省資源】

・事務所内の活動で紙を消費します。

【リサイクル】

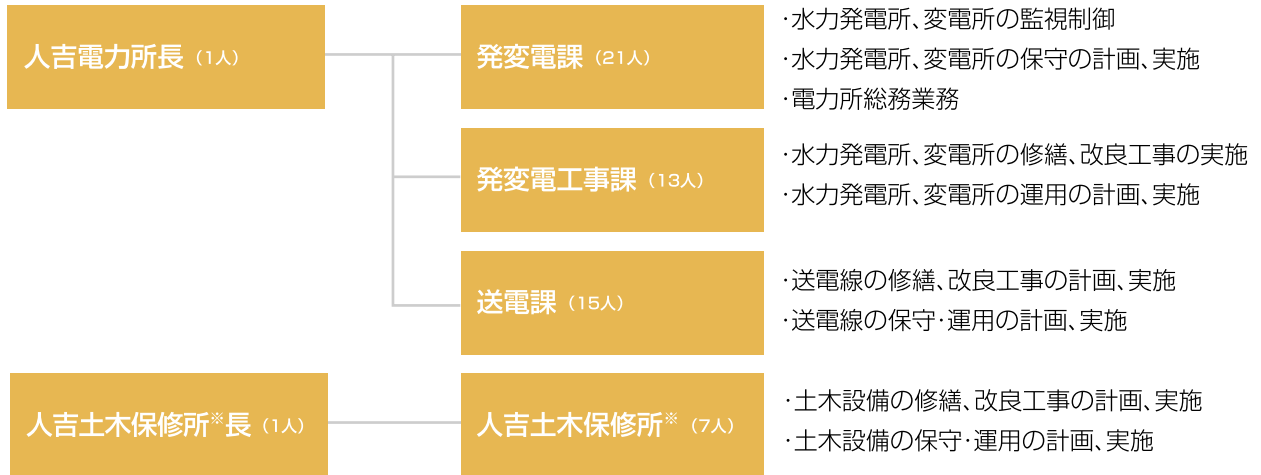
・事務所内の活動でゴミが発生します。

第2章／人吉電力所の概要

人吉電力所は、熊本県南部、人吉市周辺の水力・変電・送電設備を管理しており、同地域の土木設備を管理する人吉土木保修所とともに環境活動に取り組んでいます。

1. 組織と業務

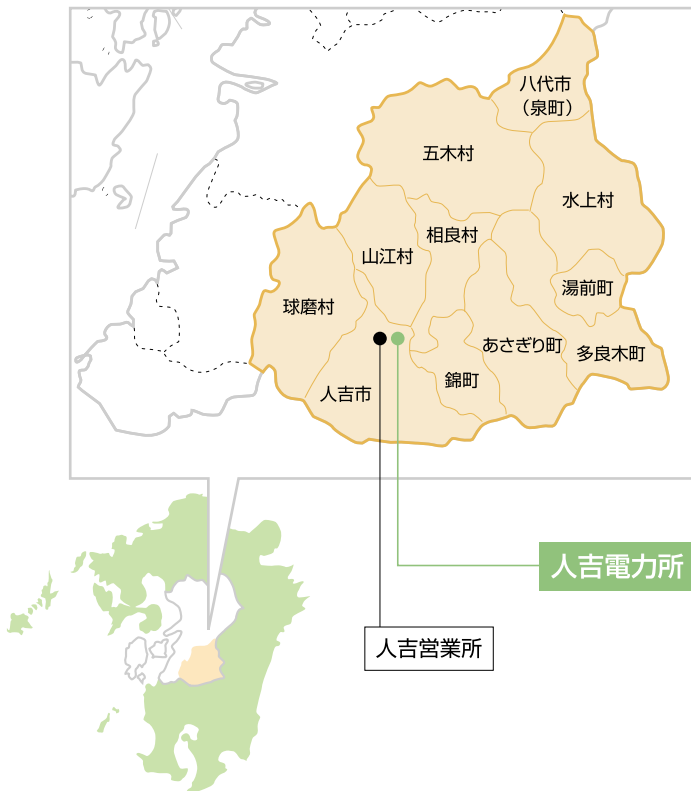
人吉電力所及び人吉土木保修所の組織と業務は以下のとおりです。



※：旧人吉電力所土木課。2005年7月に組織改正し、別組織となったが、人吉電力所のEMS活動を継続して実施している。

2. 管轄範囲

人吉市、球磨郡（錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、五木村、相良村、山江村、球磨村）及び八代市の一部（泉町）



3. 管轄設備と運用実績

人吉電力所			
水力発電所	9箇所	出力合計	60,860kW
変電所	3箇所	容量合計	665,000kVA
送電線	路線巨長 320km		
2007年3月31日現在			
発電実績	189,795MWh		
需要実績	526,602MWh		
2006年度実績			

4. 人吉電力所環境方針

人吉電力所は、以下のような考え方に基づいて環境保全活動に取り組んでいます。

九州電力 環境憲章

「環境に優しい企業活動を目指して」

1. すべての事業活動において、環境保全意識の重要性を認識します。
2. すべての事業活動において、豊かな環境の実現を目指します。
3. すべての事業活動において、環境情報公開を積極的に推進します。

2001年2月15日 社長

人吉電力所環境方針

基本理念

九州電力は

ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」

そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。

という「九州電力の思い」のもと、これからの時代の変化の中でも変わることなく電力・エネルギーを安定してお届けすること、そしてお客さまの快適で環境にやさしい毎日に貢献することを約束しています。

人吉電力所は水力発電所、変電所、送電線路を保守、維持、管理し、電力を安定供給することを使命とする事業所であり、「電気まごころを 環境にやさしさを 職場に笑顔を」の行動方針のもと、地域住民の一員として所員自らができる活動から環境マネジメントシステムに取り組みます。

基本方針

1

事務所内活動および水力発電所、変電所、送電線路の建設工事や保守作業などの事業活動全般を通じ、省資源、廃棄物の削減・再資源化及び汚染の予防に取り組み、循環型社会形成と健全な環境の維持・向上に努めます。

2

環境関連の法規制及びその他の要求事項を遵守します。

3

事業所が管理する範囲の環境保全に努め、周辺の地域環境に配慮した活動を積極的に行います。

4

環境目的・目標を設定し、その実現に努めるとともに、定期的なレビューにより環境マネジメントシステムの継続的改善を推進します。

5

電力所員が基本的な考え方を認識し、電力所環境方針に沿った行動を行うように従業員教育を行います。

環境方針は社内外へ公表します。

平成19年4月1日

九州電力株式会社 熊本支店
送変電統括部 人吉電力所長

第3章／環境活動のしくみ

人吉電力所は、長期的視点に立ち、継続的に環境負荷の低減に取り組むため、以下のようなしくみを築いて環境保全活動に取り組んでいます。

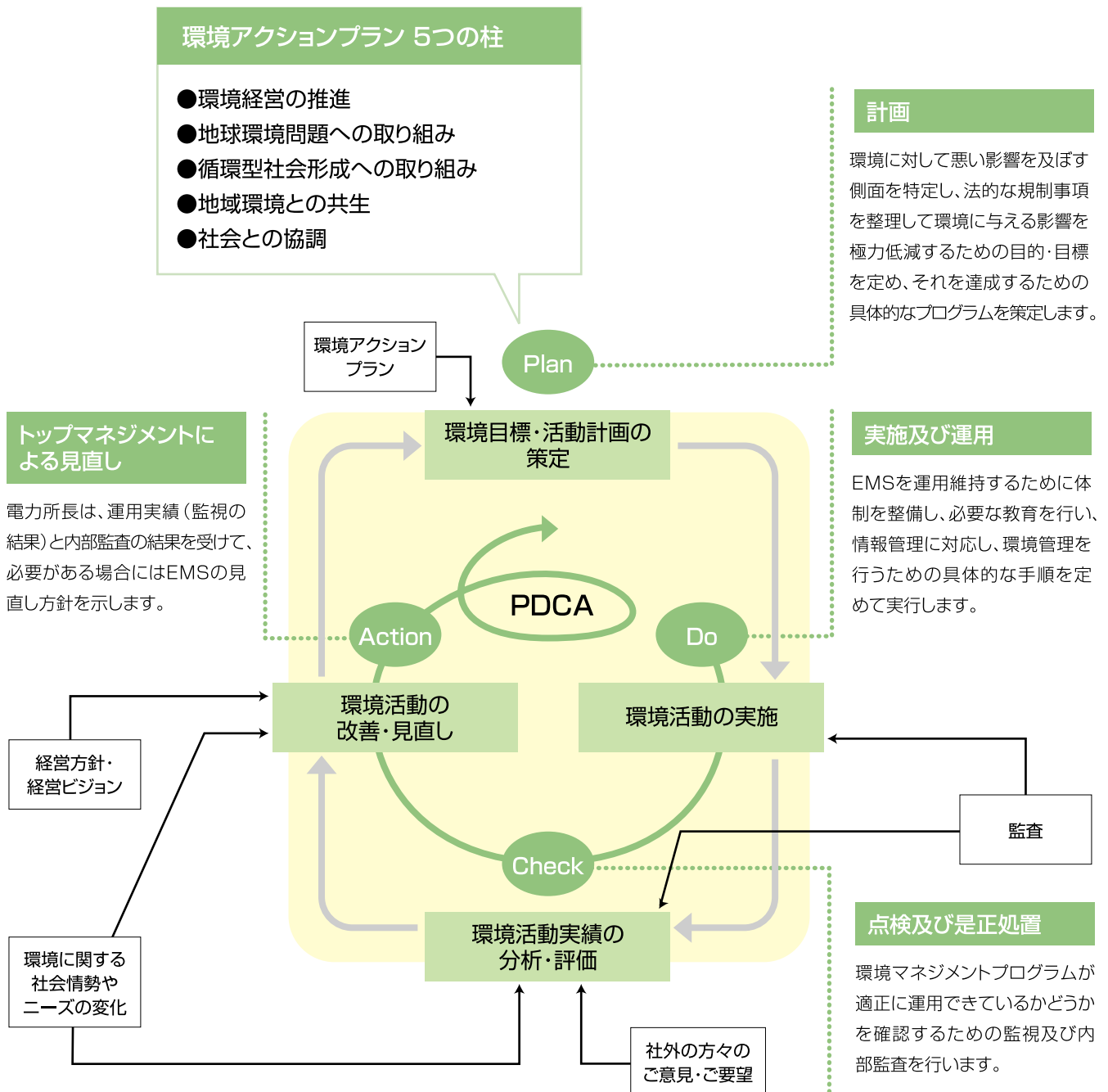
1. 環境マネジメントシステム

(1) EMS導入とISO14001 認証取得

人吉電力所では、所員及び関係者の環境保全に対する意識の高揚、並びに環境負荷軽減のための継続的改善による環境管理レベルの向上などを目的として、環境マネジメントシステム(EMS)を導入しています。

EMSは、電力所の環境保全に関する基本姿勢を示した環境方針に基づき、以下に示すPDCAサイクルを繰り返すことで、環境負荷の継続的な低減を図るシステムです。

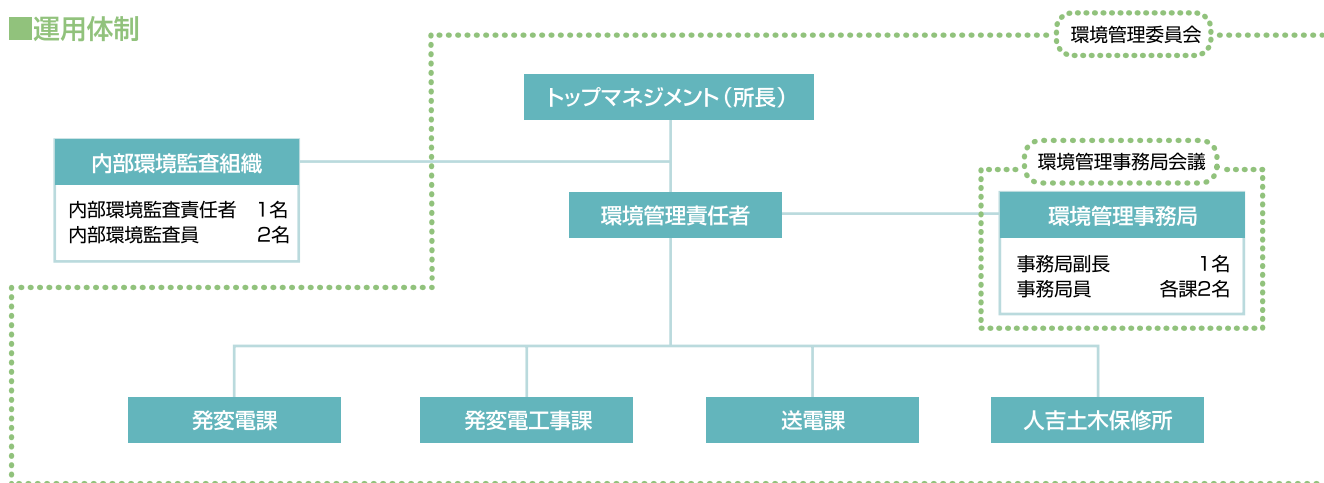
このシステムを2000年9月に導入し、翌年3月に国際規格であるISO14001の認証を取得しています。



(2) 運用体制

電力所内で業務する人吉電力所員及び人吉土木保修所員が協力して環境マネジメントプログラムに定められた役割分担に従い、環境管理に取り組んでいます。

■運用体制



(3) 内部環境監査

電力所長が任命した「監査責任者」を中心とした「内部環境監査組織」が、環境監査を年1回実施しています。ここでは、人吉電力所における環境管理がISO14001規格の要求事項に適合し、適切に実行・維持されているかを確認しています。

(4) 教育・訓練

環境マネジメントシステムに関する教育や、各所員に応じた各種の教育・訓練を定期的に行っています。

また、緊急事態を想定し、大規模非常災害復旧訓練、油流出事故復旧訓練及び消防訓練などを定期的に行っています。

なお、当電力所員が保有する環境関連の資格は右表のとおりです。(土木保修所含む)

当電力所員の環境関連資格の保有状況

資格名	資格者数(人)
防火管理者	2
衛生管理者	27
特別管理産業廃棄物管理責任者	3
危険物取扱責任者	29
内部環境監査員	7

(5) 外部環境審査

2001年3月の認証取得以降、毎年、第三者の審査機関からEMSが適切に実行され、維持されていることを定期審査により確認を受けています。さらに、認証の有効期間が3年であることから3年目には更新審査を受けて更新継続しています。

外部審査機関による受審状況

	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
認証取得	○						
更新審査				○			○
定期審査		○	○		○	○	

2. 環境目的・目標の計画と実績

(1) 2006年度の実績と評価

環境管理活動上、電力所が重点的に取り組むべき課題に対して、目的・目標を定め環境活動に取り組んでいます。

2006年度EMS目標の取り組み結果

項目	計画		結果	備考
	目標値	実施方法		
事務所内電力使用量の削減	1999年実績から19%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み及び時間外の不要な照明の消灯 ・冷暖房の温度設定(冷房28℃、暖房19℃) ・不使用OA機器の電源断の実施 ・時間外の適正実施、管理 ・空調運転停止時間の管理 ・空調設備他省エネ機器の導入検討 ・執務室他不要蛍光灯の間引き 	1999年実績から21%削減	目標達成
事務所活動における紙の使用量削減	2002年実績から11%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・両面コピーの活用 ・コピー用紙のA4サイズ統一 ・ミスコピー用紙の裏面活用 ・ミスコピー防止の徹底 ・プロジェクターの活用(会議における紙の使用量削減) 	2002年実績から24%削減(参考)1999年実績から42%削減	大幅に目標達成
環境に優しい行動の積極的推進	32点/人(環境活動をポイント化:P16参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に優しい行動の実施(ポイント設定項目) 電力所周辺3S活動 徒歩、自転車での通勤 私有車運転時の省エネ運転 植樹、清掃等環境活動への参加 不法投棄ゴミ発見時の通報 割り箸リサイクル活動 など 	36点/人	目標達成
溢水電力*に繋がる事故障害件数の低減	2003年～2005年の平均から10%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・設備懸案事項の計画的な解消 ・水車発電機巡視の強化(異常の早期発見、対応) ・チェックリスト等による施工不具合の撲滅 ・再発防止、水平展開の確実な実施(検討体制、原因究明方法等の整備) 	2003年～2005年の平均から29%増加	目標未達
オール電化普及促進	120ポイント(IHクッキングヒーター、電気温水器の設置数をポイント化)	<ul style="list-style-type: none"> ・オール電化展示即売会への参加 ・各種イベント時におけるPR活動 ・訪問PR活動 ・親戚・友人・知人への勧誘活動 ・取引先への勧誘活動 	195ポイント	大幅に目標達成
オフィスクリーンの推進	平均85点以上(チェックリストによる点数化)	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィスクリーン定着化に向けた取り組み(チェックリストを用いた実施状況確認) ・文書電子化の推進 ・発電所資材、備品類の整理、整頓 	88.4点	目標達成

なお、「社用車の燃費向上」など活動が定着したものについては、特に目標値は定めず、「維持運用活動」として継続して取り組むこととしています。

*事故や作業などにより発電機を停止した場合、発電可能な水が河川にあるにもかかわらず、発電に使用されない(資源を有効に利用しない)ことになります。このとき使用されなかった水量を溢水(いっすい)といい、その溢水に相当する仮の発電電力を溢水電力といいます。

(2) 2007年度の計画

2007年度の計画は以下のとおりとしました。

2007年度EMS目標

計画（ ____は新規取り組み）			備考
項目	目標値	実施方法	
事務所内電力使用量の削減	1999年実績から22%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み及び時間外の不要な照明の消灯 ・冷暖房の温度設定（冷房28℃、暖房19℃） ・空調運転停止時間の管理 ・不使用OA機器の電源断の実施（平日、週末電源断対象機器の明確化） ・省エネ標語類の設置 ・執務室他不要蛍光灯の間引き ・時間外の適正実施、管理 ・自動点灯スイッチの導入拡大 ・空調効率UP対策の実施（夏場のブラインド運用、エアコン吹出し口調整） 	目標を上方修正のうえ、継続して取り組む
事務所活動における紙の使用量削減	2002年実績から28%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・両面印刷、両面コピーの徹底 ・コピー後の設定リセットによるミスコピー防止 ・印刷前のプレビューによるミスプリント防止 ・コピー用紙のA4サイズ統一 ・ミスコピー用紙の裏面活用 ・プロジェクターの活用（会議における紙の使用量削減） 	目標を上方修正のうえ、継続して取り組む
一般廃棄物の削減及び再資源化の推進	発生量5,000kg以下 リサイクル率80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ゴミ分別の徹底 ・生ゴミ処理機の使用 ・現場一般廃棄物の処理適正化 ・リサイクル可能物品の抽出、明示 	新規（維持運用活動からEMS目標へ戻して取り組む）
環境に優しい行動の積極的推進	34点/人（環境活動をポイント化）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に優しい行動の実施（ポイント設定項目） 電力所周辺3S活動 徒歩、自転車での通勤 私有車運転時の省エネ運転 植樹、清掃等環境活動への参加 不法投棄ゴミ発見時の通報 割り箸リサイクル活動 など 	目標を上方修正のうえ、継続して取り組む
溢水電力*に繋がる事故障害件数の低減	2003年～2005年の平均から10%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・設備懸案事項の計画的な解消 ・水車発電機巡視の強化（異常の早期発見、対応） ・チェックリスト等による施工不具合の撲滅 ・再発防止、水平展開の確実な実施（検討体制、原因究明方法等の整備） 	継続して取り組む
オフィスクリーンの推進	平均85点以上（チェックリストによる点数化）	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィスクリーン定着化に向けた取り組み（チェックリストを用いた実施状況確認） ・文書電子化の推進 ・発変電所書類、倉庫の整理（チェックリストを用いた整理状況確認） 	継続して取り組む

第4章／環境活動への取り組み

人吉電力所における具体的な環境保全活動についてご紹介します。

1. 環境汚染を予防する設備形成の推進

お客さまへお届けする電気は、発電所、送電線、変電所、配電線といった様々な設備を経由しており、当社はそれぞれの設備に対応した環境配慮への取り組みを行っています。ここでは、人吉電力所で行っている活動の一例をご紹介します。

環境負荷の低減

水力発電所からの油流出を抑制する観点から、水車起動・停止時など弁開閉操作を油圧から電動化することで保有油量を少なくし環境に負荷を与えるリスクの低減を図っています。2005年度は2発電所を電動化し、圧油用の油を1,500ℓ低減しました。

さらに、水力発電所の潤滑油として油脂メーカーで開発された「環境に優しい油(万一河川へ流出しても自然界の微生物に分解しやすい油)」を2005年度から試験的に採用しています。



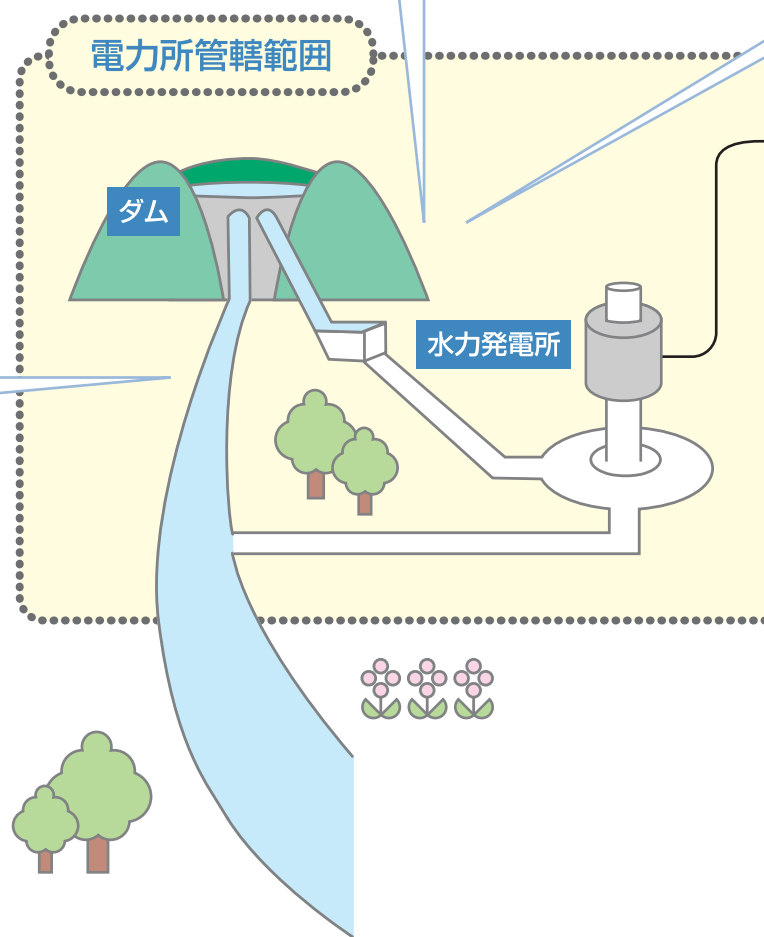
水車発電機

国産自然エネルギーの有効利用

国産自然エネルギーの有効利用の観点から、水力発電所の水車・発電機など機器取替の際には出力アップを指向しています。

2005年度は当電力所管内2発電所の出力を2,520kWアップしました。

- ・田迎発電所 2,200 → 4,700kW
- ・大野発電所 60 → 80kW



事故に備えた訓練の実施

水力発電所は河川に油が流出しない設備の構築を行っていますが、万一油が流出した場合に備え、迅速・的確な対応により、被害を最小限に抑えることが出来るように年1回定期的な訓練を行っています。



オイルフェンス設置及び油回収



訓練状況

流木の有効活用

水力発電所のダムなどに漂着した流木塵芥については、仮置き場に集積後、破碎機にて粉碎処理し田畑の堆肥として利用するなど有効に活用しています。

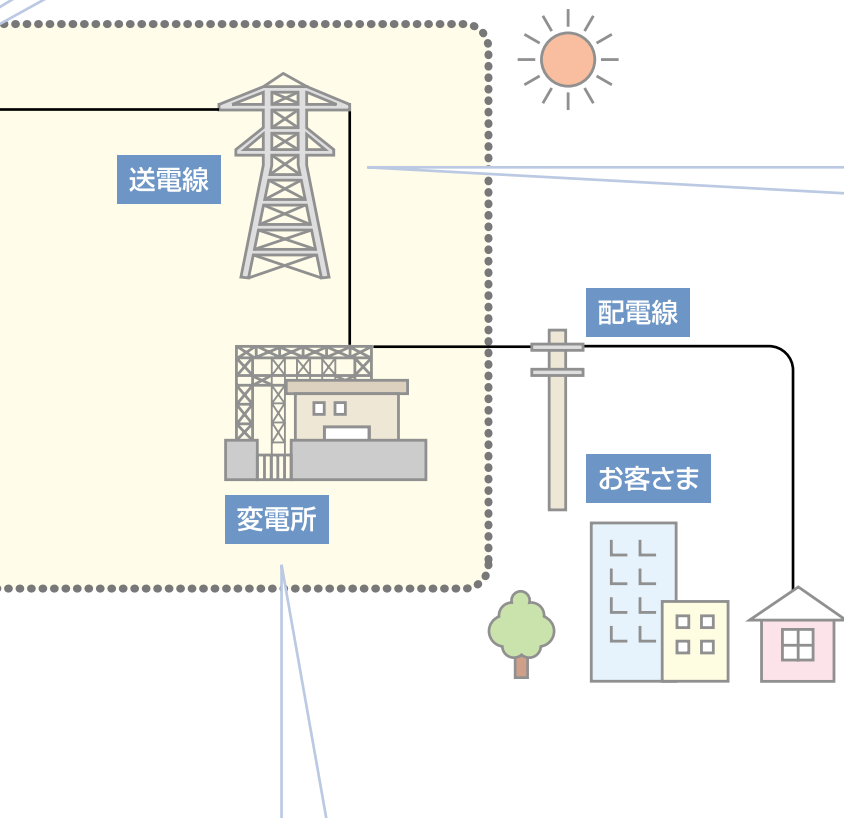
2006年度は355m³の流木塵芥を回収し、再利用しました。



流木塵芥の袋詰め



破碎機による粉碎



送電鉄塔の環境調和

送電鉄塔の鉄塔敷地面には種子を入れた植生マット及び植生土嚢を設置し、これを根付かせることで風雨等による表層流出(地肌露出)を抑制するとともに緑化にも貢献しています。

2006年度は、山間部に新しく設置した3基の鉄塔基礎部を緑化しました。



鉄塔基礎部

オゾン層破壊ガスの回収徹底

ガス絶縁開閉器に使用している六フッ化硫黄 (SF₆) ガスは、機器点検の際、大気に放出しないよう専用の回収装置を使用して排出の抑制に努めています。当電力所の点検作業等における2006年度の回収率は99.7%となりました。

また、空調装置の取替時には、オゾン層に影響のない代替フロンの使用機器への順次切替を行っています。

ガス絶縁開閉器



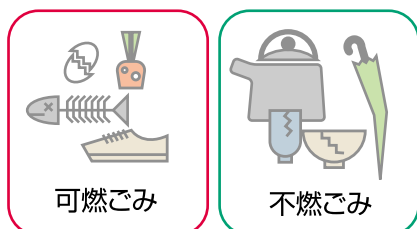
2. 電力所オフィスにおける3Rの推進

当社は循環型社会の形成に向けて、廃棄物の最終処分量を限りなくゼロに近づける「ゼロエミッション」に挑戦しており、発生抑制 (Reduce:リデュース)、再使用 (Reuse:リユース)、再利用 (Recycle:リサイクル) の3Rに取り組んでいます。

(1) 一般廃棄物の3R

電力所で発生する一般廃棄物には、古紙、ペットボトル、ビン、缶などがあり、人吉市の「資源ごみ」回収に協力するとともに、以下のような取り組みを行っています。

一般廃棄物の分類

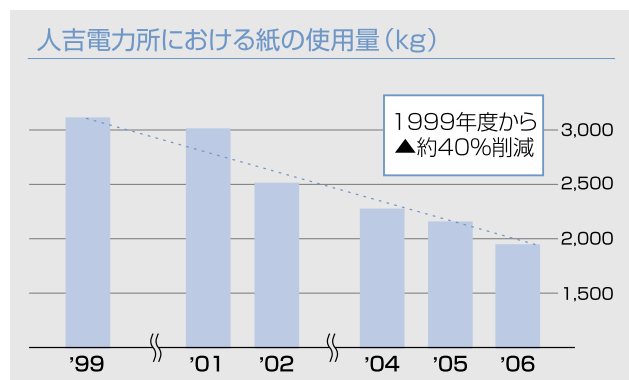


(人吉球磨クリーンプラザホームページより転載)

※当所から排出される使用済蛍光灯はグループ会社の(株)ジェイ・リライツですべてリサイクルされています。

■ リデュース、リユースへの取り組み

事務用紙については、電子承認システムの採用等による社内文書の電子化の推進及び印刷時の両面コピー、会議におけるプロジェクトの使用などにより古紙の発生抑制とミスコピー用紙の裏面再利用などに努めており、2006年度の事務用紙購入量は1999年度と比較して約40%削減しました。

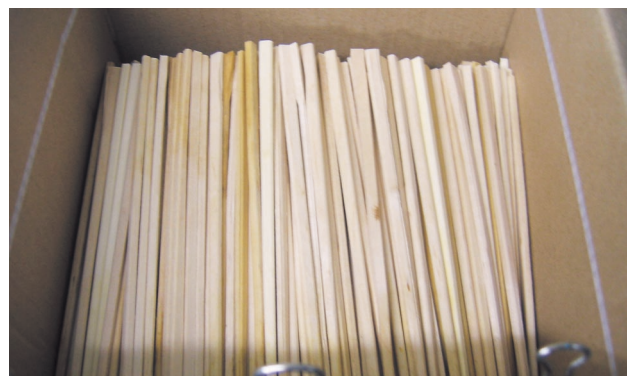


分別収集状況

■ リサイクルへの取り組み

さらに、2005年度から、割り箸リサイクルに取り組んでいます。回収した割り箸は、紙の原材料として再利用されます。

また、生ごみについては、生ごみ処理機で堆肥化し構内緑化用の肥料として利用しています。



割り箸回収箱



生ごみ処理機設置状況

(2) 産業廃棄物の適正処理

工事で発生する産業廃棄物は、取引先の処理が適正に行われていることをマニフェストで確認するとともに、再使用(リユース)・再利用(リサイクル)の徹底により、可能な限り最終処分量を削減するよう取り組んでいます。

(3) グリーン調達への推進

事務用品、OA機器消耗品等の購入においては、環境に配慮した製品を購入する「グリーン調達」を推進しています。

オフィスで使用する物品は、環境にやさしいエコ製品(エコマーク商品等)を積極的に購入しています。(例:コピー用紙類、トイレトペーパー、文具類、パソコン他)

3. 地域貢献

当電力所は、地域の環境ボランティアにも積極的に取り組んでいます。

(1) 地域清掃活動への積極的参加

毎年5月頃に実施される人吉温泉焼酎祭り及び8月の花火大会後に行われる人吉市主催の清掃ボランティアに2006年度は計51名が参加しました。

(2) 植樹活動への参加

当社は、創立50周年を記念して10年間で100万本を植樹する「九州ふるさとの森づくり」に取り組んでいます。2006年度は人吉市の草津川源流域の植樹活動に、当電力所から10名が参加しました。



植樹活動

(3) 不法投棄防止への取り組み

当電力所を含む人吉地区の九電グループ各社は、県(球磨地域振興局)と「廃棄物の不法投棄に関する協定」を締結しており、送電線の巡視時などに不法投棄と思われる状況を発見した場合は自治体へ情報提供を行います。2006年度は不法投棄ゴミの回収活動を行うとともに、現場出向時に新たな不法投棄を2件発見し自治体への情報提供を行いました。

(様式第1号) 不法投棄発見報告書

所 属 名	九州電力 人吉電力所	報告者 氏 名	〇〇〇〇
1 発見日時	平成 19 年 1 月 15日 (水) 16時 30分頃		
2 発見場所	人吉市 球磨郡 水上町 (福) フォワード館の 敷地		
3 現場の状況	山林 田 畑 農圃地 河川 (その他) (道路沿い)		
4 不法投棄の行為者	・ 投棄者判明 (姓名、 歳位) (性別: 男・女) ・ 投棄者不詳		
5 廃棄物運搬車両等	車 種 (ダンプ、軽トラ) } 登録地 約 } 車体番号 } 事業者 }		
6 不法投棄された廃棄物の種類及び量	・ 一般廃棄物 (家庭からのごみ) 約 t ・ 産業廃棄物 (事業系のごみ) 約 t ・ 廃缶等 } ・ その他 (テレビ 3台) 約 0.1 t		
7 写真撮影	・ 写真あり ・ 写真なし		
8 不法投棄発見場所 (地図: 付近の目印になるものを記入して下さい)			

【記入時の留意事項】
不法投棄の行為者が近くにいる場合は、自身に危害が生じる恐れがある場合は、安全確保のための速記記入する等十分気を付けて下さい。

不法投棄
発見報告書



不法投棄状況

(4) 小学校における環境活動講師の実施

当電力所の「不法投棄ゴミ回収活動」に関心を抱かれた小学校からの依頼を受けて、2005年5月23日、人吉市立田野小学校の総合学習の時間に「環境問題と当社の環境活動」をテーマとして講義を受け持ちました。

当社の環境活動について知っていただくとともに、環境問



小学校での講義

題への関心を高めることに貢献できました。その後、この小学校では児童自らが製作した不法投棄防止の看板が設置されるとともに、年2回当電力所と協力してプランタの設置、清掃活動を行うなど環境活動の輪が広がりを見せています。



看板の設置と清掃活動に参加された皆さま

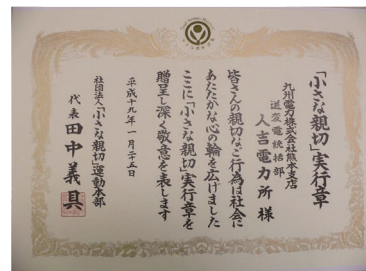
(5) 社会福祉施設清掃ボランティアの実施

当電力所では、地域奉仕の一環として障害者福祉施設の清掃ボランティアを行っています。2006年11月には当電力所員24名で社団法人つつじヶ丘学園の換気扇、エアコン、照明等の清掃を行いました。

この活動が評価されて社団法人「小さな親切」運動本部さまから、第520回実行章を受章しました。



清掃ボランティア



「小さな親切」実行章

(6) 稚魚放流の実施

当社「環境月間」の一環として、当電力所では清流への稚魚放流などを行っています。2006年6月には五木村川辺川流域の五木北小学校の児童・教諭の皆さまとともにヤマメ稚魚8,000匹を放流しました。



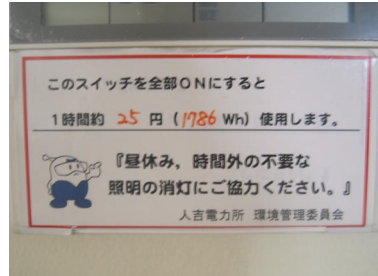
ヤマメ放流

4. 環境活動意識の高揚

(1) 意識高揚標識の設置

所員がコスト意識を持って省エネなどの環境活動に取り組むように、意識高揚のための標識を照明・エアコンのスイッチなどに設置しています。

また、当電力所では環境に優しい行動の一環として「樹木に優しい前向き駐車」にも取り組んでおり、お客さま用駐車場に呼びかけ看板を設置し、励行していただいています。



スイッチ部の標識



「前向き駐車」呼びかけ看板

(2) 環境活動情報誌の掲示

当電力所では、毎月の活動状況を「EMS活動情報誌」として作成し、目標達成状況、法改正などの周知と目標達成の動機付けのために所内掲示しています。また、環境活動の今後の予定などを掲示し、所員が環境活動に自主的・計画的に参加できるようにしくみを作っています。

ISO no Navi Hei !!

[人吉電力所 EMS活動情報誌 (イノベヘイ!)]

平成18年 3月 日
環境管理事務局

1. 活動経過について (注: 部分は目標未達月)

(1) 事務所内電力使用量の削減 (H14年実績から16%削減)

年度累計は目標を上回っていますが、横ばいになっています。各課は「暖房設定温度18℃」「長時間離席時のパソコン電源OFF」などを徹底し、更なる低減に努めましょう。

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
計画内削減目標(kWh)	52,899	106,862	173,070	242,360	292,284	409,134	481,280	548,252	605,474	662,268	719,268
削減実績(kWh)	▲11.0	▲11.0	▲11.0	▲11.0	▲11.0	▲11.0	▲11.0	▲11.0	▲11.0	▲11.0	▲11.0
削減率(%)	▲21.0	▲21.0	▲21.0	▲21.0	▲21.0	▲21.0	▲21.0	▲21.0	▲21.0	▲21.0	▲21.0
削減率(%)	▲11.0	▲11.0	▲11.0	▲11.0	▲11.0	▲11.0	▲11.0	▲11.0	▲11.0	▲11.0	▲11.0

(2) 事務所活動における紙の使用量削減 (H14年実績から4%削減)

月、年度累計とも目標を大きく回りました。「再利用可能な紙(裏面コピー)」と「リサイクル可能な紙(古紙)」の分別を更に確実にを行い、H14年実績から10%削減の達成を目指しましょう。

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
削減目標(kg)	289.0	411.0	673.0	823.0	1,229.0	1,493.7	1,643.7	1,643.7	1,643.7	1,643.7	1,643.7
削減実績(kg)	▲1.0	▲1.0	▲1.0	▲1.0	▲1.0	▲1.0	▲1.0	▲1.0	▲1.0	▲1.0	▲1.0
削減率(%)	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3
削減率(%)	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3

(3) 環境にやさしい行動の積極的推進 (26点/人)

各課とも目標を上回り、年度目標もクリアしています。3S、植林等のボランティア活動へ積極的に参加し、活性化しましょう。(目標は40ポイント/人)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
削減目標(ポイント)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
削減実績(ポイント)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
削減率(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
削減率(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

環境活動予定・実績

実施日	活動名	参加人数	環境活動ポイント(人)
H19.4.27	電力所環境清掃ボランティア	32	1.5
H19.5.14	クリーン人吉運動連携活動「人吉緑地緑の連携」	16	4
H19.5.25	緑の森校清掃回収(準備)		0.5
H19.5.30	不法投棄ゴミ回収活動 田野小学校「ゴミゼロ運動」		2
H19.6	電力所環境清掃ボランティア		1.5
H19.6	セマミ防除(山辺川)に山女団体の協賛会		1.5
H19.7	電力所環境清掃ボランティア		2
H19.8	クリーン人吉運動連携活動「人吉花火大会後の連携」		4
H19.9	別荘クリーンキャンペーン(左野公園)		3.5
H19.9	緑の森校清掃回収(準備)		0.5
H19.10	緑の森校清掃回収(準備)		4
H19.10	電力所環境清掃ボランティア		1.5
H19.11	「自然体験」連携ボランティア		2
H19.12	電力所環境清掃ボランティア		1.5
H19.12.1	丸根とまの森づくり(山辺川)		4
H20.1	不法投棄ゴミ回収活動		1.5
H20.2	不法投棄ゴミ回収活動 田野小学校「ゴミゼロ運動」		1.5
H20.2	緑の森校清掃回収(準備)		0.5
H20.3	電力所環境清掃ボランティア		1.5

活動予定の表

活動名	参加人数
計	16

環境活動情報誌

活動予定の表

5. 人吉電力所EMSの経緯

1999年 9 月16日	「環境ISO14001取得推進委員会」発足
2000年 9 月 1 日	環境マネジメントマニュアル制定・発行(各活動の開始)
2001年 2 月16日	本審査
2001年 3 月14日	認証取得
2002年 5 月30日	環境ISO活動による社長表彰受賞
2002年10月 1 日	「環境管理基準」制定
2003年 2 月 6 日	2年次サーベイランス(結果：向上)
2004年 3 月10日	更新審査合格
2004年 6 月23日	県と「廃棄物の不法投棄対策に関する協定書」を締結
2005年 2 月 4 日	1年次サーベイランス(結果：向上)
2006年 3 月 2 日	2年次サーベイランス(結果：向上)
2007年 1 月25日	社団法人「小さな親切」運動本部より「小さな親切」実行章を受章
2007年 3 月14日	更新審査合格





ずっと先まで、明るくしたい。



九州電力
環境活動シンボルマーク

このシンボルマークは、九電グループが取り組む4つの事業領域（総合エネルギー事業、情報通信事業、環境・リサイクル事業及び生活サービス事業）を「4つ葉のクローバー」でデザインしたもので、クローバーの茎は、Energy、Ecologyなどの「e」を意味し、九州電力がグループ全体の事業活動を通じて環境活動を推進していく姿勢を表現しています。

本レポートについてのご意見・お問い合わせ先

九州電力(株) 熊本支店
送変電統括部 人吉電力所
TEL(0966)22-2289



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

九州電力はチーム・マイナス6%に参加しています。



Kyushu Environmental Management Corporation
このレポートは、九電グループで発生・回収した古紙を利用し、再生した用紙を活用しています。



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用



印刷用インキは、環境にやさしい大豆油インキを使用しています。